

ぼうさい通信 Vol.29



令和2年1月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ「災害時の心のケア」

新年明けましておめでとうございます。今年は正月から天候も良く落ち着いて過ごせたのではないのでしょうか。昨年は1月3日に県北のほうで地震がありましたからね……。今年は夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることになっていて、各スポーツの分野で楽しみな一年になることと思います。

心のケアが必要・・・1,882人!?

昨年10月に発表されたデータによると、心のケアが必要な児童・生徒数は1,882人であり、うち半数の952人が今年度新たに必要と確認されたということです。熊本地震（前震）から3年半（R1.10.14）が経ちましたが、心のケアに関する調査を継続して行ってきました。初回（2016年）4,277人が心のケアが必要と確認され、それから減ってはきましたが、まだまだ心のケアが必要だということが分かるかと思っています。

ストレスを和らげるには相手の思いを聞いてあげる・その思いを共有することが大事です。無理に思いを引き出さずに、相手が話したい時に話を聞いてあげてください。

ましきラボ・・・!?

熊本大学が主催する「ましきラボ」。熊本大学の学生や先生方が、益城町の住民の皆さんと気軽に語り合える場として、2016年10月に益城町寺迫にある秋津川河川公園内にオープンしました。ここでは座談会や研究発表会、作業体験など大学生と一緒に活動できるものや、大学生の研究発表を見ることができたりと、様々な活動が行われています。ぜひ一度興味がある人はHPやフェイスブック等で見てみてください。また、高校生としての皆さんの思いなど大学生に話してみたいか？一緒に体験作業をして、自分の活動の幅を広げてみてはどうでしょうか？



熊本県内のカウンセリングが必要な児童生徒数



（熊本市立高校を除く県内全公立学校対象。県、熊本市両教委調べ）

過去のぼうさい通信を見ることができます

本校のHPにアクセスしてみましよう。

HP <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/> ぼうさい通信（毎月16日発行）